

情報を整理し、読み手に伝わりやすい文章を書くことができる児童の育成 ー情報整理シートの活用と交流活動の工夫を通してー

特別研修員 国語 松本 真由美(小学校教諭)

児童の実態

- ・インターネットや本で調べた材料を取捨選択することなく、そのまま羅列して自分の文章にしてしまう。
- ・集めた材料をよく理解せずに使うため、読み手に伝わりやすい文章にならない。

教師の願い

- ・自分の感想や意見を取り入れながら情報を整理し、伝えたいことを明確にして文章を書いてほしい。
- ・読み手に分かりやすい文章を書くこととする意識を高めてほしい。

実践事例

単元名 書き表し方を工夫して、日本文化のみりよくを伝える文章を書こう
教材名 発見、日本文化のみりよく(光村図書・第6学年)

手立て① 自分の考えを明確にするための情報整理シートの活用

情報整理シート

とは
1枚で情報整理と文章構成の両方を視覚的に確認できるもの。

1. 情報チャート

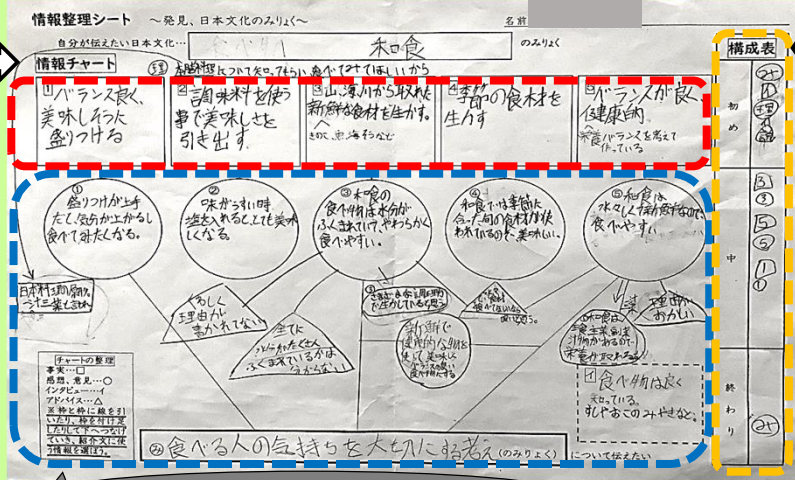
集めた材料と自分の意見や感想などを整理しながら、最も伝えたいことを明確にするためのツール

情報収集

内容整理

構成

記述



2. 文章構成表

情報チャートの枠番号を活用し、初め・中・終わりに分けて文章の流れを可視化

情報整理シートと記述の往還が重要

手立て②

目的意識や相手意識をもつための交流活動の設定

1. 目的意識をもつための交流

- 情報整理シートの主張と事例の整合性を検討する。
- 少人数のグループで交流する。

食べる人の気持ちを大切にすることってどういうこと?

バランスよく健康的な献立だったり、新鮮な食材を使ったりしているということだよ。

それなら、このみずみずしいって事例は合わないかもね。



そうだね。もっと伝えたいことに合う事例を見つけよう。

2. 相手意識をもつための交流

- 読み手に伝わりやすい書き表し方の工夫ができていないかなどの確認や相談をする。
- 各自が必要なタイミングで自由に交流する。



魅力が伝わる文章になっているかな。

この事例の説明が長いから、自分の考えを加えらるともっと分かりやすいかも。

なるほど。情報整理シートを見直して、もう一度整理してから書いてみるね。



情報整理シートを使って、必要な情報を選びながら整理したり、友達との交流で分かりにくい部分を指摘してもらったりしたおかげで、読み手のことを意識した文章が書けた。

目指す児童像

情報を整理し、読み手に伝わりやすい文章を書くことができる児童

～成果～

- 情報整理シートに集めた材料と自分の感想や意見を区別して記入したり、友達からの質問などを加えたりして整理することで、自分が伝えたい魅力が明確になっていた。そして、情報を理解した上で取捨選択をし、ただ集めた材料を並べただけではない自分なりの文章を書く姿勢が見られた。
- 主張と事例の整合性を検討したり、主張が曖昧でないかを確認したりする交流を設定したことで、自分の伝えたいことを明確にすることができていた。また、記述の場面で自由交流を設定したことで、読み手に伝わる文章になっているか、書き表し方の工夫ができていないかなどを確認しながら記述を進める児童の姿が多く見られた。

～課題～

- 友達のアドバイスを自分の文章にうまく取り入れられない児童が見られた。効果的な交流になるよう、アドバイスをメモに残して検討するよう言葉掛けをしたり、交流する相手を意図的に促したりする必要がある。